

J G S	0 5 4 2	地盤材料の変形特性を求めるための繰返し三軸試験 ($E_{eq}, h \sim (\epsilon_a)_{SA}$ 関係)
	0 5 4 3	

調査件名

試験年月日

試料番号 (深さ)

試験者

試料の状態 ¹⁾		土粒子の密度 $\rho_s^{3)}$ g/cm ³				
供試体の作製方法 ²⁾						
土質名称						
供試体 No.		飽和方法	圧密条件			
試験条件	軸方向応力 σ_{ac} kN/m ²	載荷条件	載荷波形			
	側方向応力(=外圧,内圧) σ_{rc} kN/m ²		載荷周波数 f Hz			
	背圧 u_b kN/m ²		排水条件			
	軸方向圧密応力 σ'_{ac} kN/m ²		1サイクルデータポイント数			
	側方向圧密応力 σ'_{rc} kN/m ²		載荷段階数			
異方圧密応力比 $\sigma'_{rc}/\sigma'_{ac}$ (=K) ⁵⁾						
載荷段階	5 サイクル目 ○ △			10 サイクル目 ● ▲		
	片振幅軸ひずみ $(\epsilon_a)_{SA}$ %	等価ヤング率 E_{eq} MN/m ²	履歴減衰率 h %	片振幅軸ひずみ $(\epsilon_a)_{SA}$ %	等価ヤング率 E_{eq} MN/m ²	履歴減衰率 h %
	片振幅せん断ひずみ $(\gamma)_{SA}$	等価せん断剛性率 G_{eq}		片振幅せん断ひずみ $(\gamma)_{SA}$	等価せん断剛性率 G_{eq}	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解冻方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 異方応力状態で試験するときのみ記入する。 [1 kN/m² ≒ 0.102 kgf/cm²] [1 MN/m² ≒ 10.2 kgf/cm²]